

## 基本理念

～共に生きる～

1. 一人ひとりの意思と人権を尊重します。
2. 一人ひとりが明るく・楽しく・幸せに暮らせ笑顔が一杯な居住の場をつくりまします。
3. 日本一やさしいホームを目指します。

## 活動方針

1. 利用者の人権を尊重し、個別支援計画に沿った支援をします。
2. 利用者のご家族や関係者の方々との交流を大切に、開かれたホームを目指します。
3. 利用者のあらゆる出会いと、ふれ合いの場と安らぎを提供します。
4. 利用者のご家族や関係者の話を良く聞き、理解に努めその実現を図ります。
5. 明るい挨拶・清潔な身だしなみと職員の専門性と資質の向上に努めます。

## 事業報告

平成23年 5月 1日 重度障害者グループホーム建設検討委員会を設立  
 平成23年 12月 8日 地権者説明会 (5件)  
 平成24年 7月 10日 重度障害者グループホーム建設委員会として再発足  
 平成24年 9月 10日 土地造成 【(株)大隈設備工業】  
 平成24年 12月 10日 入札 【(株)上滝建設】  
 平成24年 12月 19日 起工式  
 平成25年 3月 29日 井戸掘削  
 平成25年 5月 10日 引き渡し  
 平成25年 6月 1日 開所

## 総事業費

土地取得費	22,213千円	土地造成費	17,067千円
施設整備費	114,607千円	設計監理費	6,000千円
重度備品費	5,396千円	一般備品費	4,122千円
諸費用	11,460千円	総計	180,865千円

## 補助金

施設整備費	38,000千円	国	25,320千円	県	12,680千円
重度設備整備費	5,000千円			県	5,000千円
初度整備費	2,000千円			県	2,000千円
短期入所加算	15,865千円	国	10,571千円	県	5,294千円
総計	60,865千円				

## 利用対象者

1. 18歳から65歳までの方
2. 障害程度区分が4から6の方
3. 各種サービスの支援費支給が見込まれるか、すでに支給の決定をうけている方  
※医療的ケアが必要な方でも入所できます。

## 利用者の負担

家賃月額 45,000円 食費(朝・夕)月額 16,000円 光熱水費月額 16,000円  
 合計 77,000円  
 ※契約後、国より月一万円の家賃補助が受けられます。

## 定員

1. 17名 [ありおの丘:10名 / かんらんの丘:7名]
2. 2名 [短期入所(ショートステイ)] ※障害程度区分1以上の方

**NPO法人 鹿陽会**  
 佐賀県鹿島市大字重ノ木乙3028-6

TEL (0954) 63-1015

FAX (0954) 68-0066

**ケアホーム鹿陽**  
 佐賀県鹿島市高津原湊坂2629-1

「ありおの丘」 TEL (0954)68-0282  
 FAX (0954)68-0283

「かんらんの丘」 TEL (0954)68-0280  
 FAX (0954)68-0281

NPO法人 鹿陽会

重度障がい者グループホーム

# ケアホーム鹿陽

ありおの丘 かんらんの丘



## 「ケアホーム鹿陽」が目指すもの

ノーマライゼーション理念の浸透により「自らが生まれ育った地域で自分らしく当たり前に暮らしたい」と願う障がいを持つ人たちがその家族が増えてきています。各地に多くの障がい者のケアホームが設立されているのはその表れでしょう。

しかしながら、地域に暮らしたいと強く望んだとしても、現行のケアホームの制度ではその願いが叶わない人たちが多くおられます。医療によるケアの必要な人たちであり、その多くは重症心身障がい者の皆さんです。その人たちの暮らしは、病院や家族によって支えられています。

痰の吸入や経管による注入などは「医療的ケア」と言われ、家族が行うことは認められているものの、法律により医療的資格者でないと行えない医療行為とされています。

そのため、通常のケアホームでは医療的ケアの必要な重症心身障がい者の受入れは困難で、その人たちの暮らしは家族による献身的な介護によって支えられているのが実状です。また、介護に当たっているご家族の中には「自分にもしものことがあったら」という不安を抱えず抱えながら日々を過ごしている人たちが数多くおられると思います。

このような状況を少しでも打破し、障がいを持つ当事者やそのご家族に「安心」と「豊かな暮らし」を提供するために「重度障害者グループホーム・ケアホーム鹿陽」を開所いたしました。

このケアホーム鹿陽には看護師が常駐しており、いつでも医療的ケアが出来るようになっています。また、医師・理学療法士による訪問リハビリも実施しています。

このような取り組みをすることによって、どんなに障がいが高くても望んでいる暮らしが可能になり、生きているそのことに意味があることを、障がいのある人たちがその家族だけでなく、広く社会に伝えていきたいと考えています。



九州で初めて設置し、車椅子のまま入浴ができます。普通の浴槽も設置しています。



可動式浴槽

展望広場の真下であり、「ザ・鹿島」の利用者が野菜づくりに励んでいます。



鹿陽ファーム



眼下に有明海が望め、鹿島市内の夜景が一望できます。



展望広場

畳の間で、一段と高く車椅子から手軽に昇降ができます。



居間

「ありおの丘」と「かんらんの丘」にあり常に看護師が常駐しています。



医務・宿直室



トイレ



車椅子も軽々と操作でき、明るいトイレです。

食堂・居間



椅子席からも畳の間からもテレビを観ることができます。

居室



全て個室で、窓からは緑が目に入り、冷暖房完備と洗面所を備えています。

食堂



床暖房で、中庭と蟻尾山が一望できます。

中庭



広々とした芝生の庭で、遊び・会話を楽しむことができます。



食事介助

廊下



広々と天井も高く、左右に居室があります。

洗面所



車椅子のまま使用できます。

厨房



先端の調理器具を備えています。

憩いの場



浴槽



明るく浴室も広々とし、快適な浴槽です。



# ケアホーム鹿陽 全体配置図

夜間や休日に、入居者が自立した日常生活を営むことが出来るように意向・適正・障がいの特性その他の事情を踏まえ「個別支援計画」に基づき入浴・排せつ・食事等の介護及び創作活動など必要とする援助を行い、身体機能・生活能力の向上を目指します。